

資 料

目 次

資料 - 1	深谷市社会教育委員会議によるアンケート結果 . . .	2
	・ アンケート実施要領	2
	・ 家庭グループにおけるアンケート結果	3
	・ 地域グループにおけるアンケート結果	19
	・ 学校グループにおけるアンケート結果	31
資料 - 2	深谷市社会教育委員会議 活動記録	56
資料 - 3	深谷市社会教育委員名簿	60

深谷市社会教育委員会議によるアンケート結果

深谷市社会教育委員会議では、「深谷市における家庭教育支援について」を研究テーマに定め、調査・研究することにし、この研究テーマの下、①「家庭における教育」 - 家庭グループ、②「地域における家庭教育支援のあり方」 - 地域グループ、③「学校における家庭教育支援のあり方」 - 学校グループの3つの小テーマを定め、3つのグループに委員が入り、調査・研究することになった。

その中で、深谷市における家庭教育・家庭教育支援の実態を把握するため、家庭グループ、地域グループ、学校グループ毎に下記の要領でアンケートを実施した。

【アンケート実施要領】

1. 実施目的

教育基本法第13条に家庭及び地域住民等の相互の連携協力について規定されているが、家庭・地域・学校が如何に連携協力すべきかを調査・研究に資するため

2. アンケートの内容

- ・家庭グループ 「家庭における家庭教育について」
- ・地域グループ 「地域における家庭教育支援について」
- ・学校グループ 「学校における家庭教育支援について」

3. 調査対象と規模

- ・家庭グループ 対象と規模

小学校6校	4年、5年、6年	各1クラスの保護者
中学校6校	1年、2年、3年	各1クラスの保護者
学校については、無作為に抽出		1,500人

- ・地域グループ 対象と規模

市内各自治会長	202人
市内各地区主任児童委員	20人
市内各地区青少年育成推進員	39人

- ・学校グループ 対象と規模

市内各小・中学校長	29人
市内各小・中学校PTA正・副会長	87人

家庭グループにおけるアンケート結果

1. 調査期間 平成26年2月下旬～3月7日
2. 調査対象 小学校6校 4年、5年、6年 各1クラスの保護者
中学校6校 1年、2年、3年 各1クラスの保護者
3. 調査用紙配布数と回収数
 - 配布数 1,500
 - 回収数 1,041
 - 回収率 69.4%
4. 調査用紙
4ページ
5. 調査結果
8ページ

家庭グループ調査用紙

家庭における子どもの基本的な生活習慣について、当てはまる項目に○印を記入してください

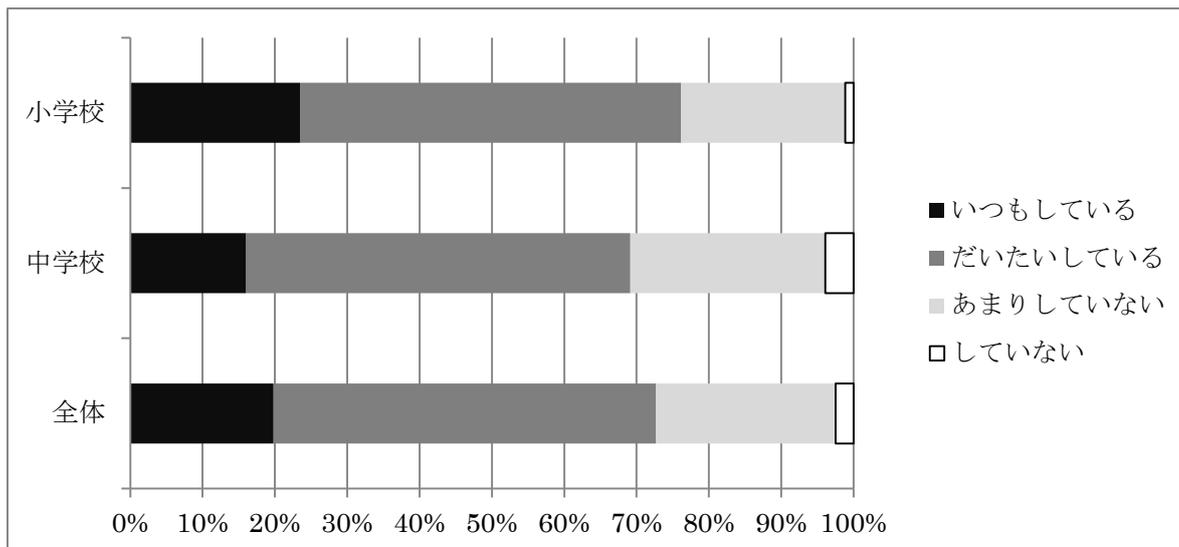
質問項目	いつも している	だいたい している	あまり していない	していない
1 早寝、早起が出来ている				
2 家族に「おはよう」「おやすみ」を言っている				
3 親が率先して挨拶をしている				
4 朝ごはんを食べて登校している				
5 栄養バランスに配慮した食事を心がけている				
6 子どもの言葉づかい、礼儀を気にかけて注意している				
7 親が率先して正しい言葉づかい、行動に心掛けている				
8 脱いだ靴を揃えている				
9 自分の身の周りの片付けをしている				
10 家の手伝いをしている				
11 学校生活について毎日話をしている				
12 子どもの友達関係について把握している				
13 親子で何でも話し合う時間を取っている				
14 人への思いやり、命の大切さなど道徳性を養っている				
15 将来の進路や適性についてアドバイスしている				
16 家庭での勉強時間は1日どのくらいですか			時間	分位
17 家でTV、ゲームに費やす時間は1日どのくらいですか			時間	分位
18 携帯電話やスマートフォンを持たせていますか		持たせている	・	持たせていない
19 学校外(部活動以外)のスポーツは何かしていますか		している(種目:)・していない
20 学校外で、学習塾以外の習い事は何かしていますか		している(習い事:)・していない

家庭における子どもの基本的な生活習慣について、当てはまる項目に○印を記入してください

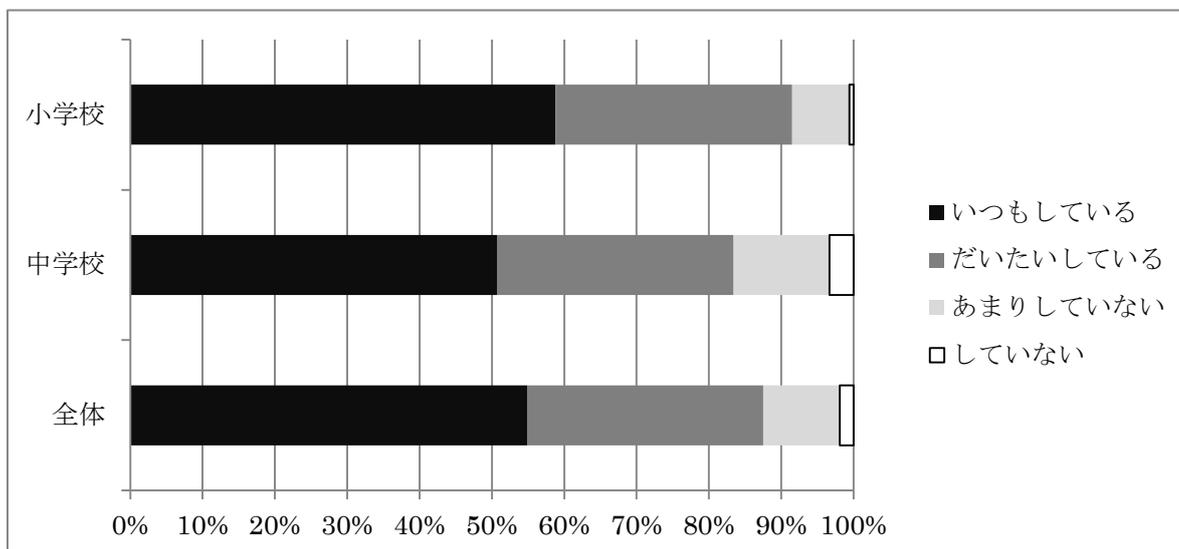
質問項目	いつも している	だいたい している	あまり していない	していない
1 早寝、早起が出来る				
2 家族に「おはよう」「おやすみ」を言っている				
3 親が率先して挨拶をしている				
4 朝ごはんを食べて登校している				
5 栄養バランスに配慮した食事を心がけている				
6 子どもの言葉づかい、礼儀を気にかけて注意している				
7 親が率先して正しい言葉づかい、行動に心掛けている				
8 脱いだ靴を揃えている				
9 自分の身の周りの片付けをしている				
10 家の手伝いをしている				
11 学校生活について毎日話している				
12 子どもの友達関係について把握している				
13 親子で何でも話し合う時間を取っている				
14 人への思いやり、命の大切さなど道徳性を養っている				
15 将来の進路や適性についてアドバイスしている				
16 家庭での勉強時間は1日どのくらいですか			時間 分位	
17 家でTV、ゲームに費やす時間は1日どのくらいですか			時間 分位	
18 携帯電話やスマートフォンを持たせていますか		持たせている	・ 持たせていない	
19 学校外(部活動以外)のスポーツは何かしていますか		している(種目:)・していない	
20 学校外で、学習塾以外の習い事は何かしていますか		している(習い事:)・していない	

家庭グループ調査結果

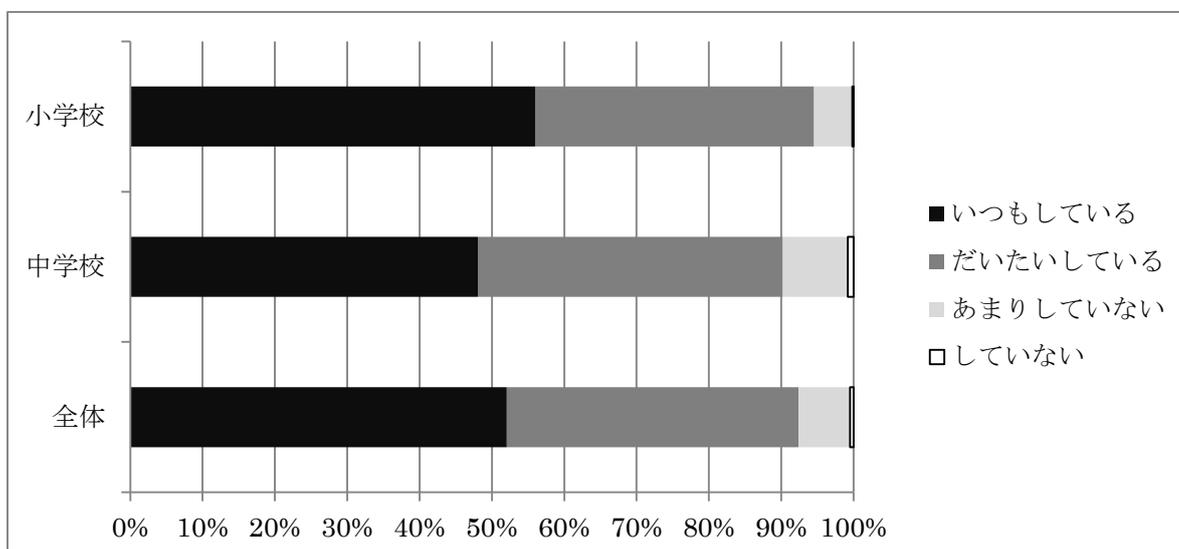
1 早寝、早起が出来ている



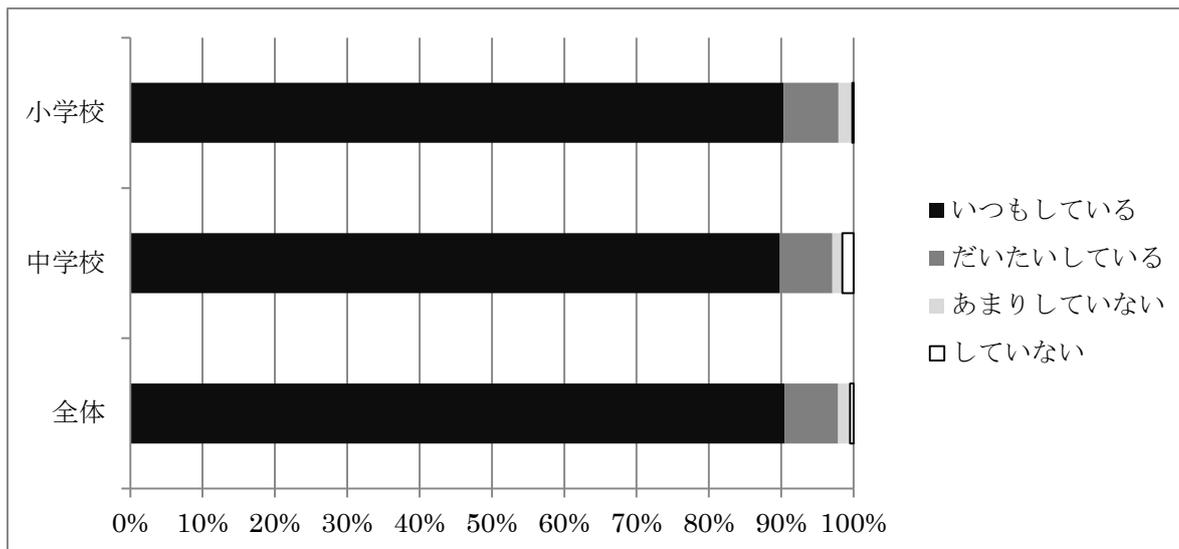
2 家族に「おはよう」「おやすみ」を言っている



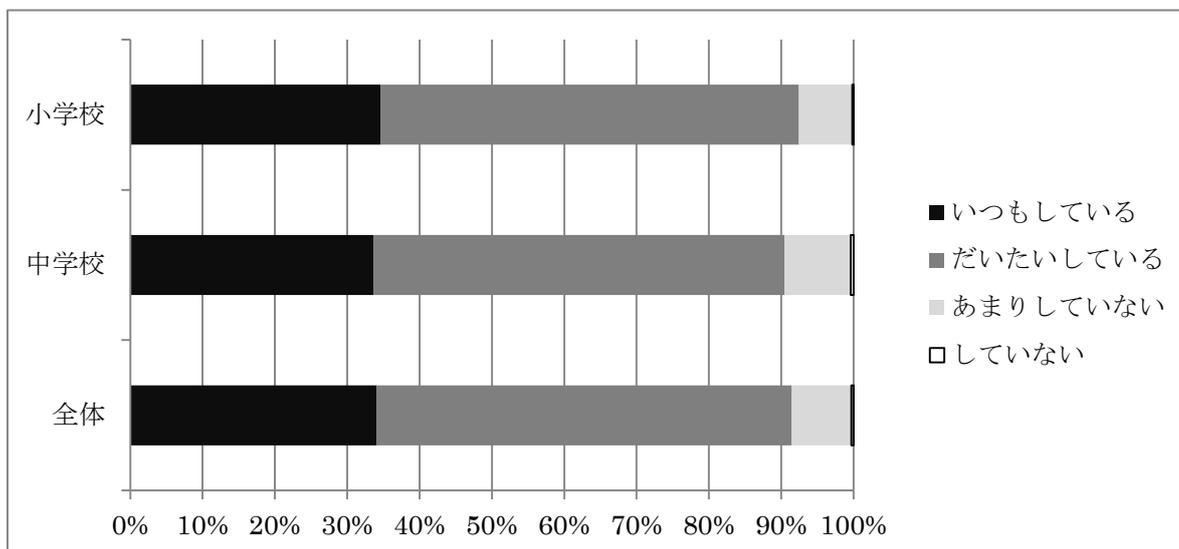
3 親が率先して挨拶をしている



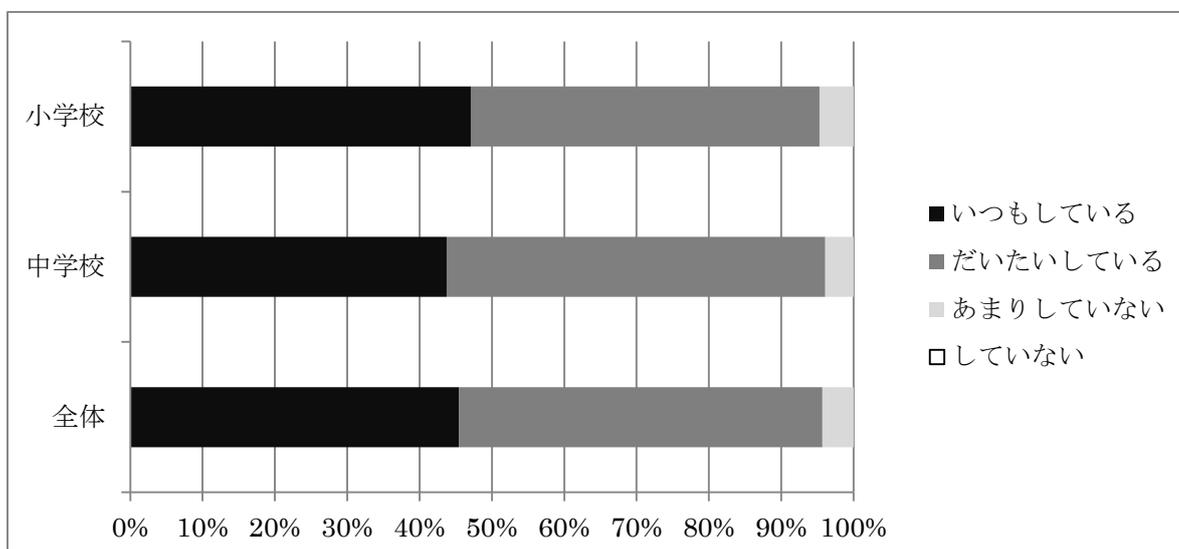
4 朝ごはんを食べて登校している



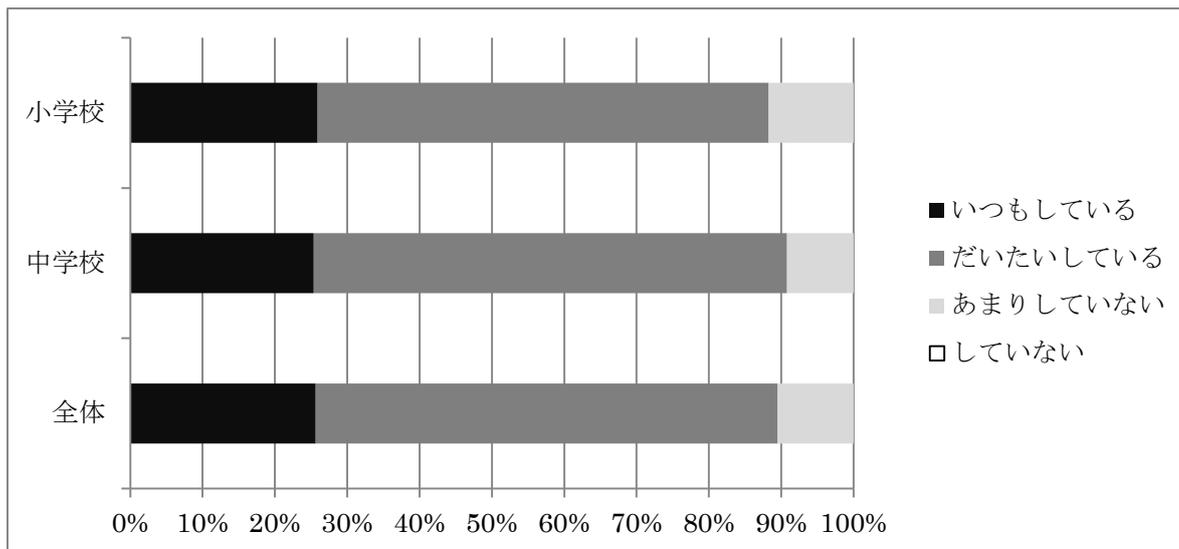
5 栄養バランスに配慮した食事を心がけている



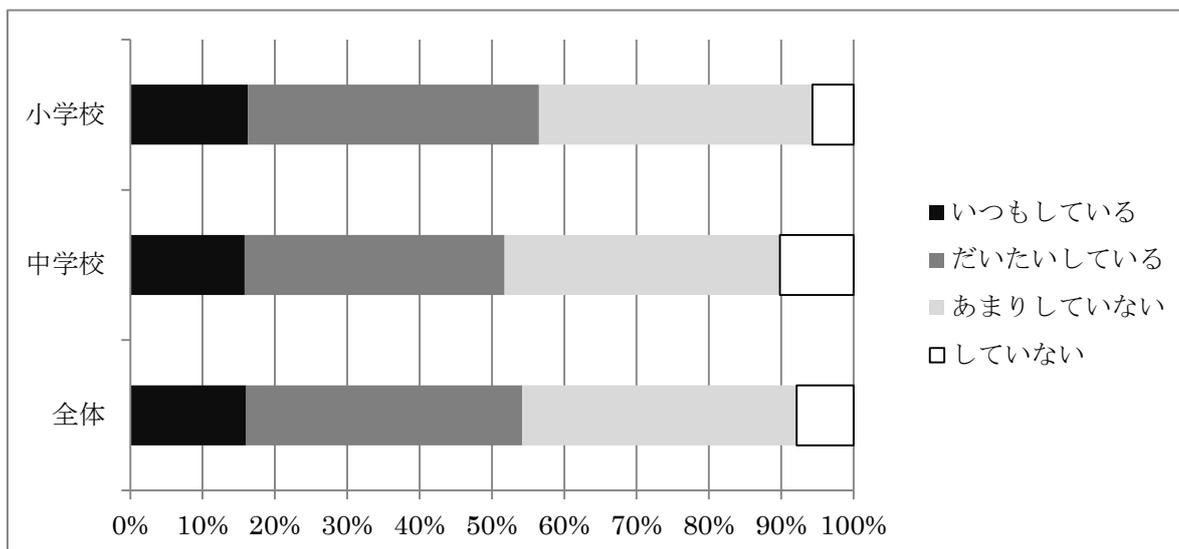
6 子どもの言葉づかい、礼儀を気にかけて注意している



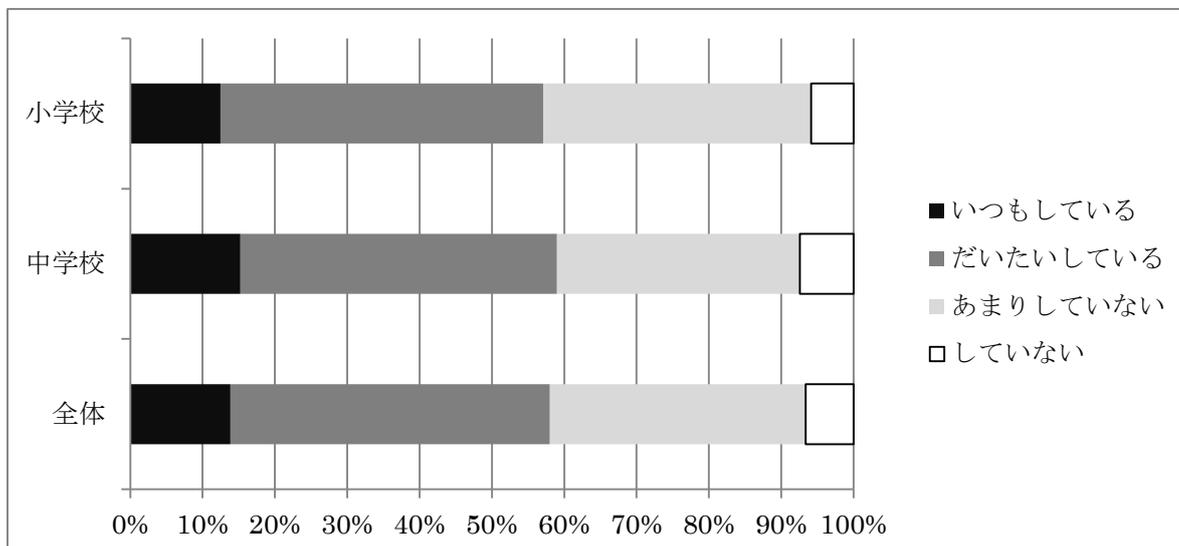
7 親が率先して正しい言葉づかい、行動に心掛けている



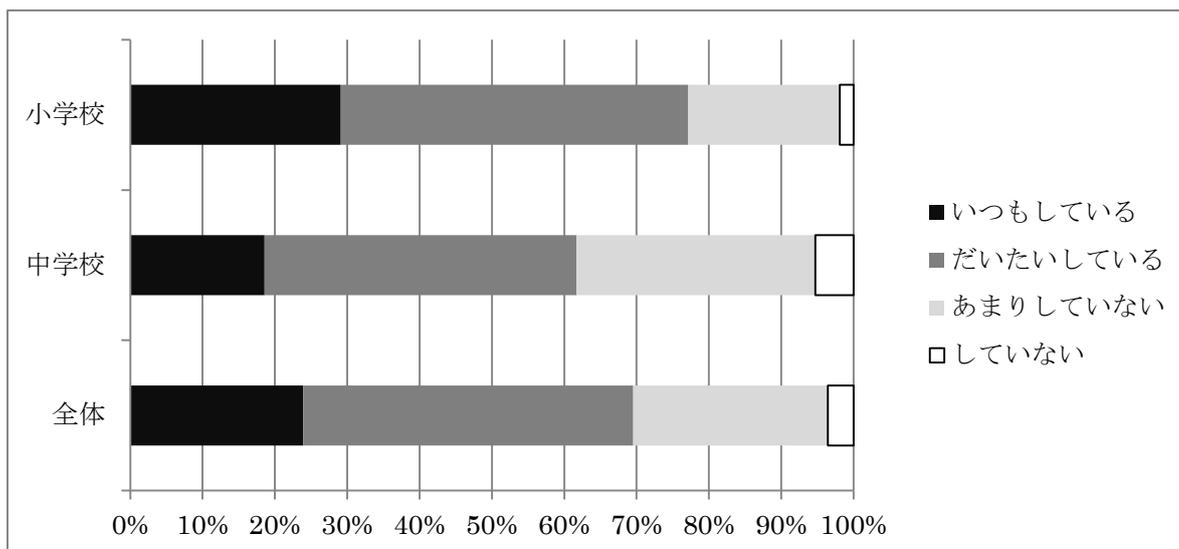
8 脱いだ靴を揃えている



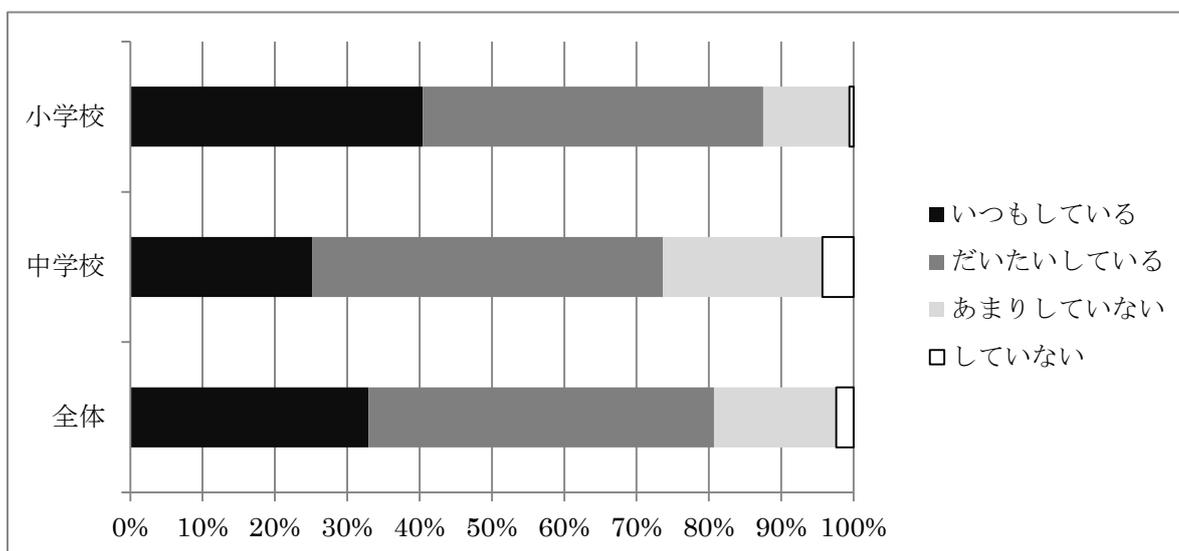
9 自分の身の周りの片付けをしている



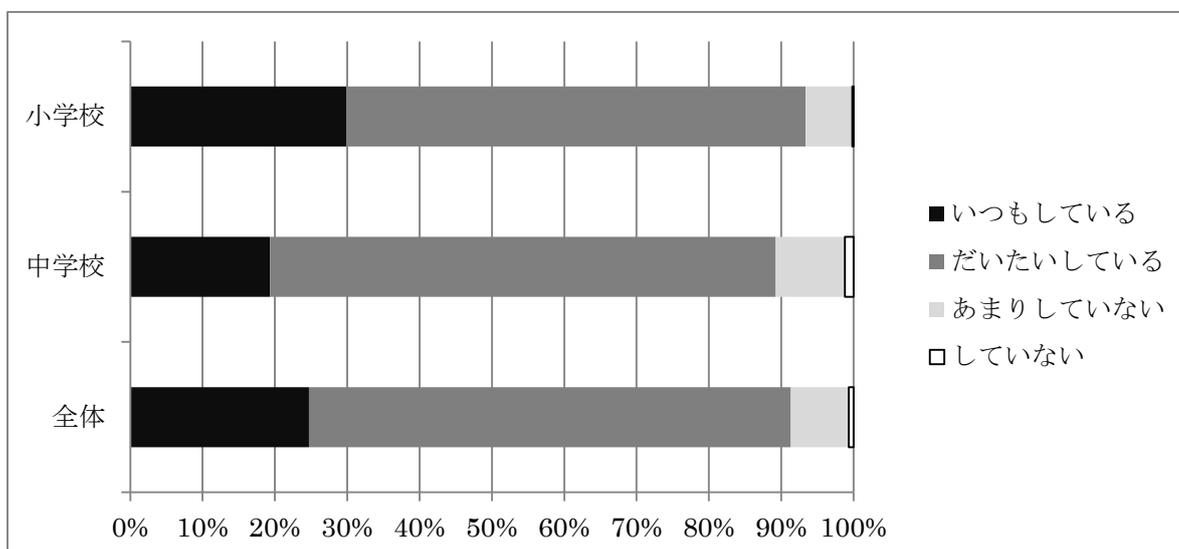
10 家の手伝いをしている



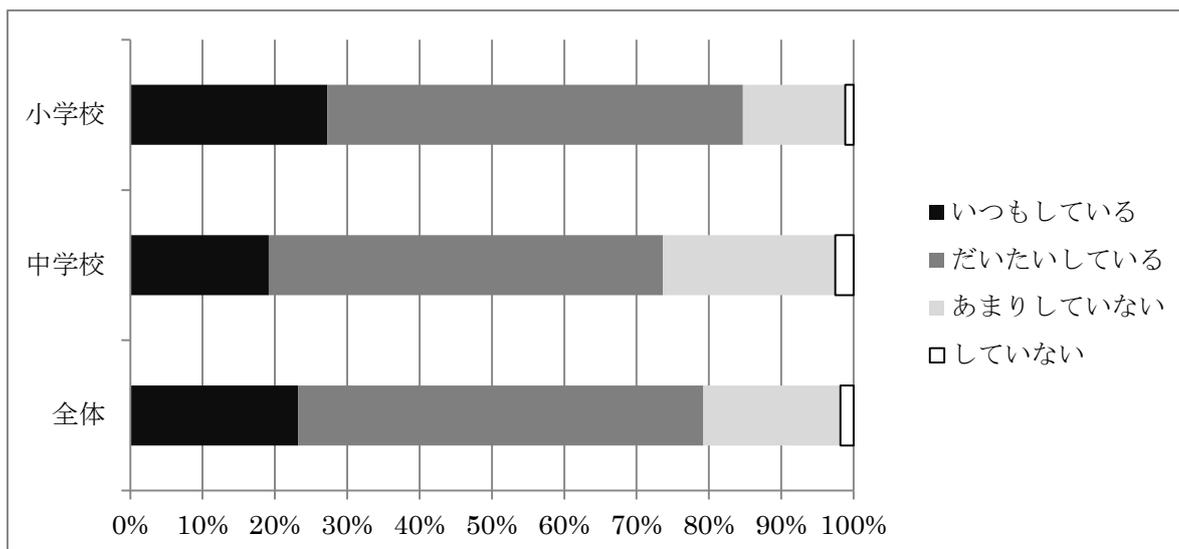
11 学校生活について毎日話をしている



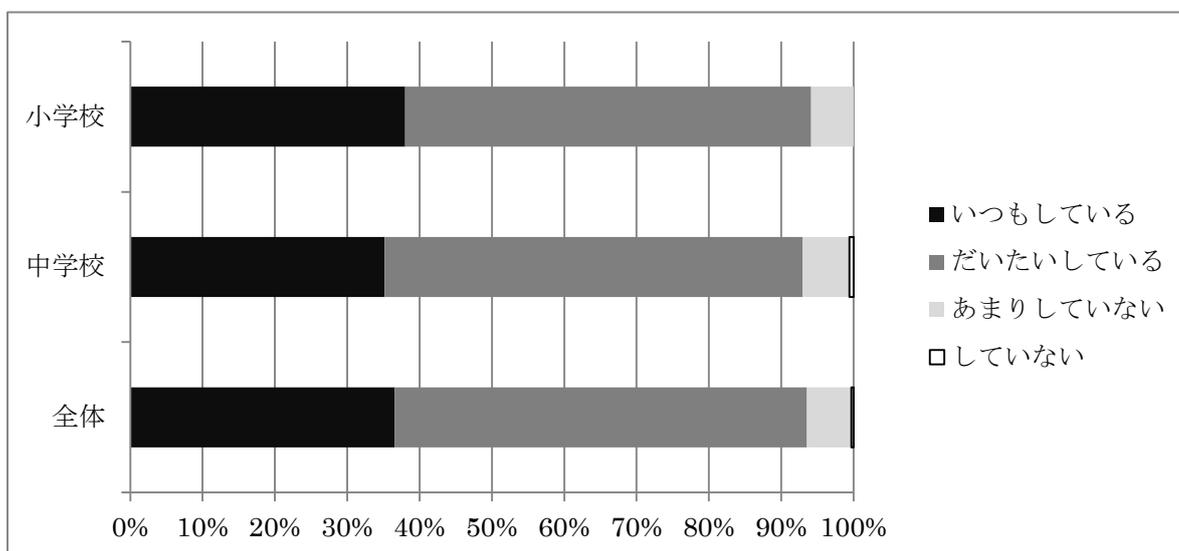
12 子どもの友達関係について把握している



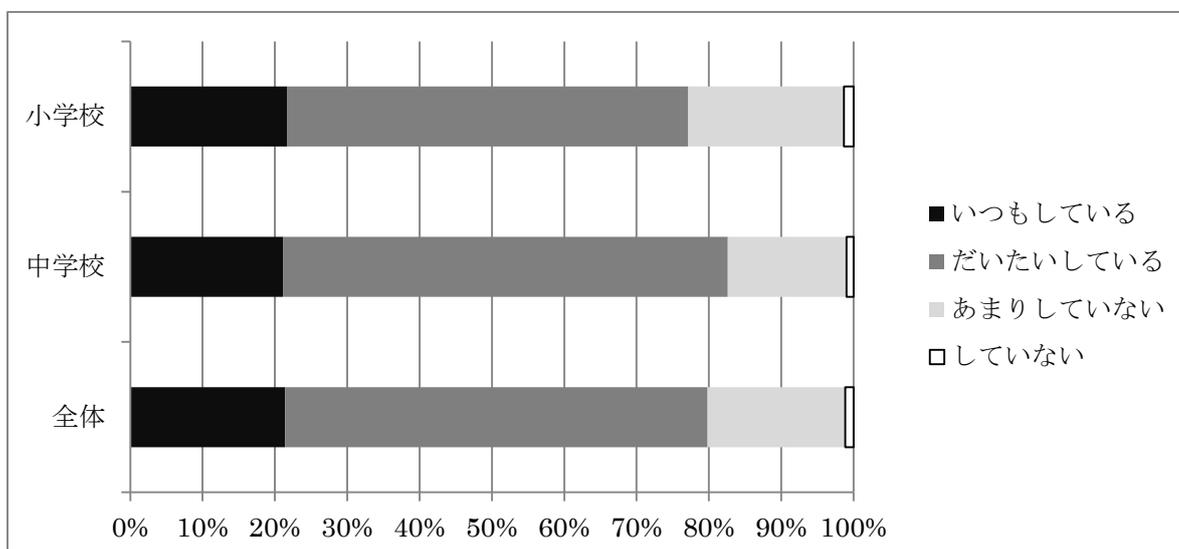
13 親子で何でも話し合う時間を取っている



14 人への思いやり、命の大切さなど道徳性を養っている

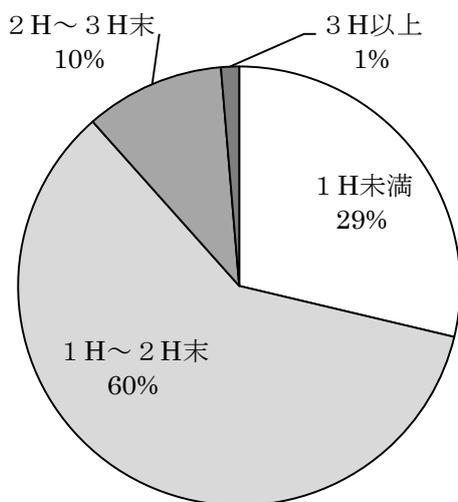


15 将来の進路や適性についてアドバイスしている

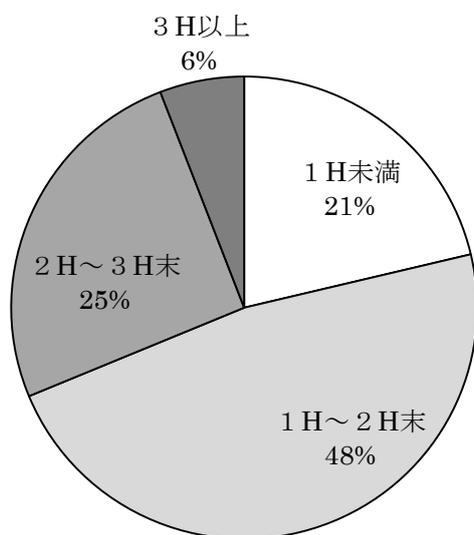


16 家庭での勉強時間は1日どのくらいですか

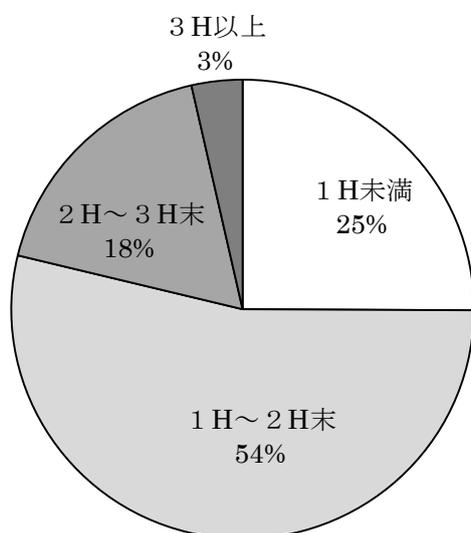
小学校



中学校

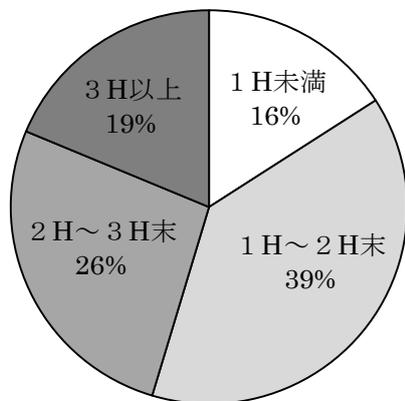


全体

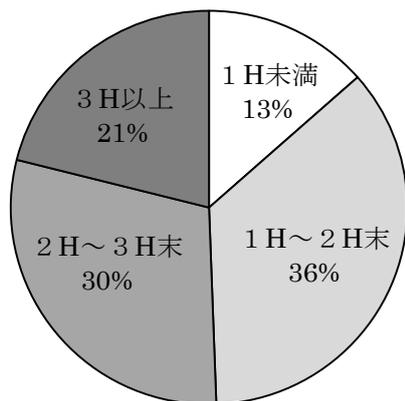


17 家で TV、ゲームに費やす時間は 1 日どのくらいですか

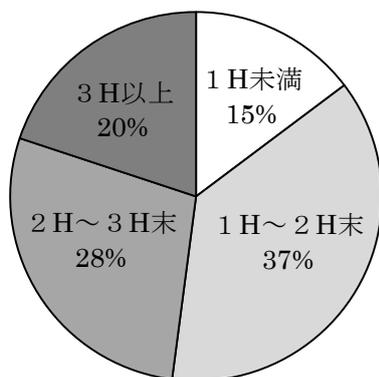
小学校



中学校

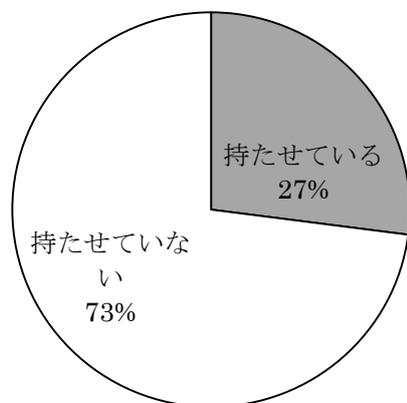


全体

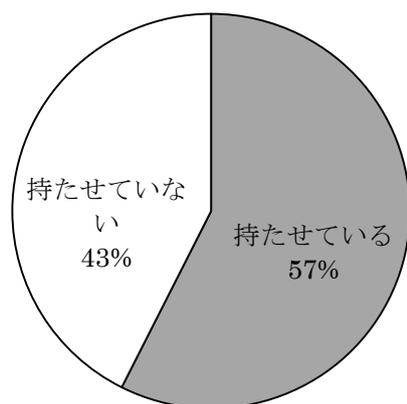


18 携帯電話やスマートフォンを持たせていますか

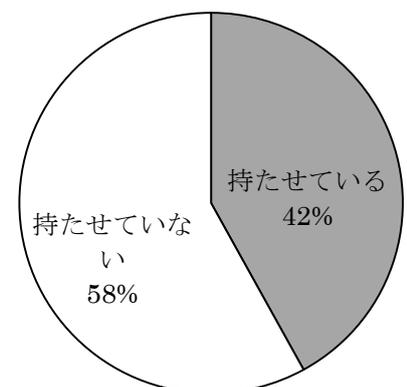
小学校



中学校

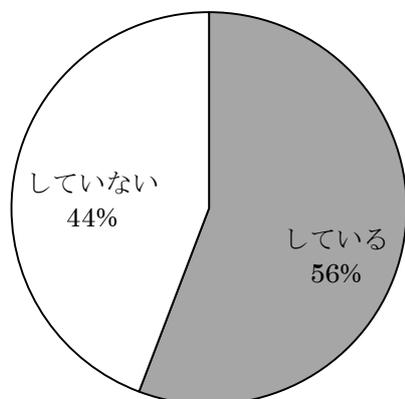


全体



19 学校外（部活動以外）のスポーツは何かしていますか

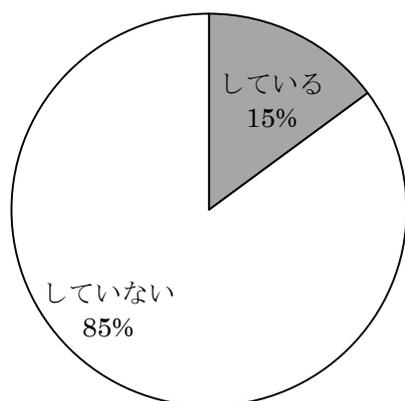
小学校



主な種目：

サッカー	75人
水泳	64人
野球	29人

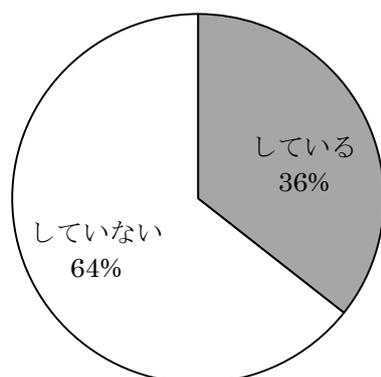
中学校



主な種目：

野球	14人
サッカー	16人
バドミントン	3人
水泳	5人

全体

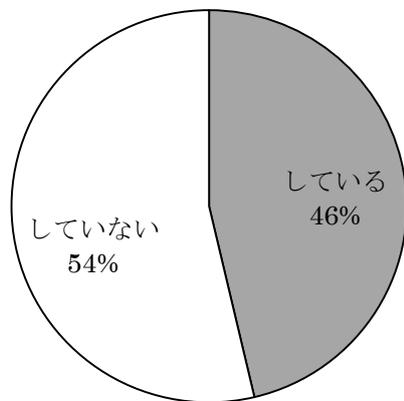


主な種目：

サッカー	91人
水泳	69人
野球	43人

20 学校外で、学習塾以外の習い事は何かしていますか

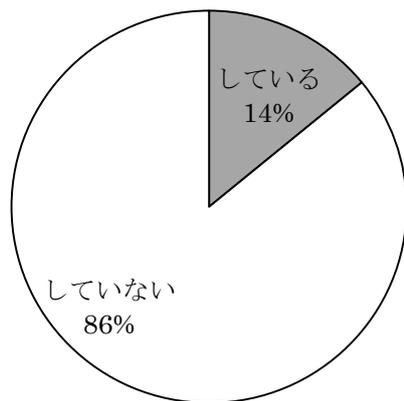
小学校



主な習い事：

書道	89人
ピアノ	71人
英会話	35人

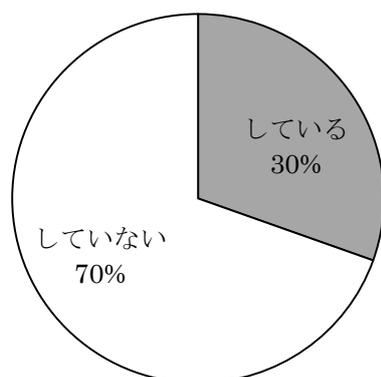
中学校



主な習い事：

書道	35人
ピアノ	25人
英会話	11人

全体



主な習い事：

書道	124人
ピアノ	96人
英会話	46人

地域グループにおけるアンケート結果

1. 調査期間 平成26年2月下旬～3月7日

2. 対象と規模

市内各自治会長	202人
市内各地区主任児童委員	20人
市内各地区青少年育成推進員	39人

3. 調査用紙配布数と回収数

	配布数	回収数	回収率
自治会長	202	149	74%
主任児童委員	20	19	95%
青少年推進員	39	36	92%
計	261	204	78%

4. 調査用紙

20ページ

5. 調査結果

24ページ

地域グループ調査用紙

あなたの年代及び役職名をお聞かせ下さい。

30代以下 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上

[自治会長 ・ 青少年育成推進員 ・ 主任児童委員]

以下の設問で該当する項目に○印を付けて下さい。(複数回答も可)

問1. 現在、地域社会の連帯が薄れてきていると言われますが、あなたはその理由にはどのような要因があると考えますか。

- 1 個人主義の進展
- 2 核家族化の増加
- 3 共働き世帯の増加
- 4 単身世帯の増加
- 5 高齢世帯の増加
- 6 転勤や会社の仕事が忙しいため
- 7 その他(上記以外の要因があったら記入して下さい。)

問2. あなたは地域の子どもの教育に対し、どんな協力が出来ますか。

ア. 学校ボランティア活動。

- 1 スポーツ活動の指導
- 2 通学路などの防犯活動
- 3 学習指導の補助
- 4 農業体験活動
- 5 学校や地域環境の美化活動
- 6 いじめ等の相談活動

イ. その他(上記以外の活動があったら記入して下さい。)

問3. あなたは地域の世代間交流活動に、どんな行事が必要と思いますか。

- 1 地域のお祭り
- 2 郷土伝統芸能の伝承
- 3 野外キャンプ活動やクリスマス会
- 4 昔の遊び(竹馬・竹とんぼ・駒回し・凧作り・あやとり等)
- 5 学校施設を利用した活動(書道・スポーツ・郷土の歴史等)
- 6 公共施設を活用した活動(図書館・天体観測・バレーボール等)
- 7 その他(上記以外の活動があったら記入して下さい。)

問4. 現在、青少年が凶悪事件や事故に巻き込まれる事案が多発していますが、あなたはその被害を防止するにはどうしたら良いと考えますか。

- 1 警察車両による巡回を増やす
- 2 地域の防犯活動や住民による見回り活動を活発にする
- 3 防犯カメラや防犯灯を増設する
- 4 深夜の単独行動を避ける
- 5 携帯電話やパソコンの危険性を教える
- 6 その他(上記以外の活動があったら記入して下さい。)

問5. あなたは地域でどんな社会貢献活動をしていますか。

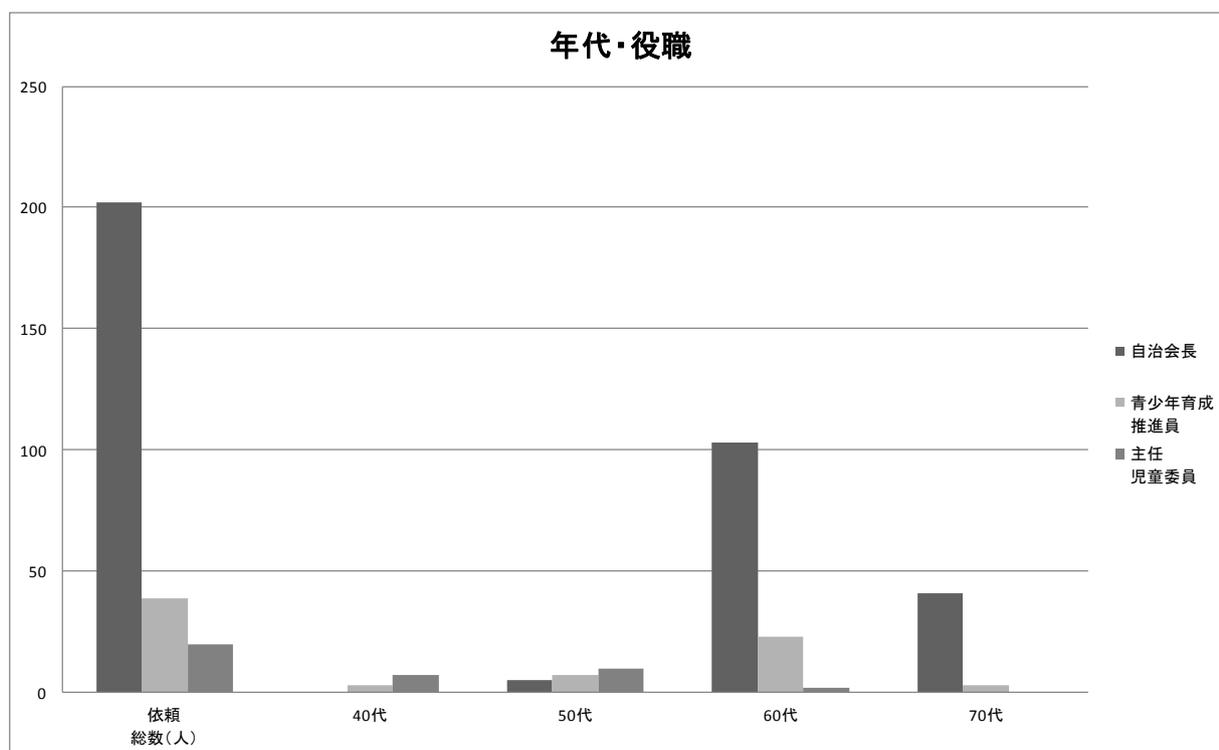
- 1 青少年健全育成のための活動
- 2 交通安全等に関する活動
- 3 世代間交流事業活動
- 4 地域清掃活動
- 5 老人施設などの慰問活動
- 6 その他(上記以外の活動があったら記入して下さい。)

ご協力ありがとうございました。

地域グループ調査結果

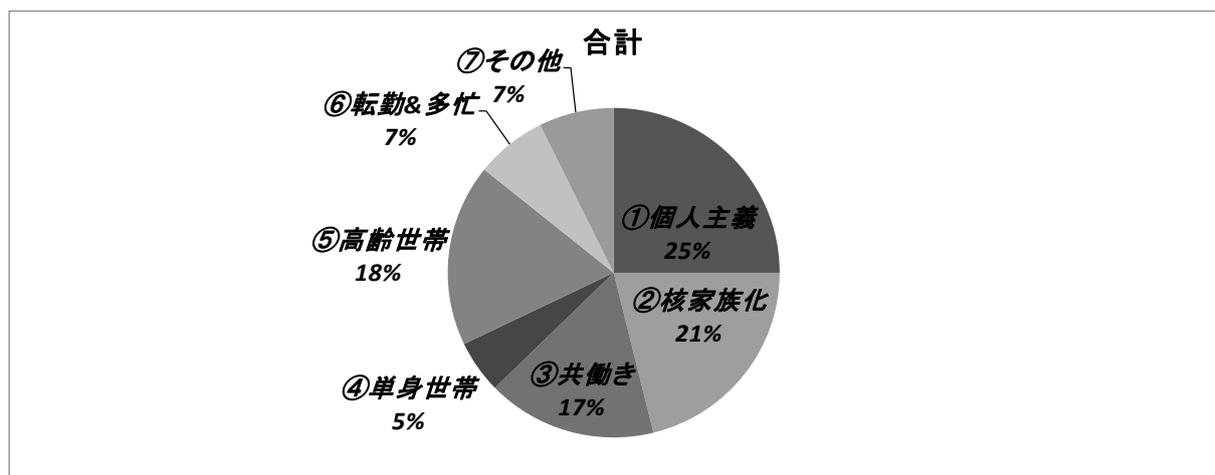
○あなたの年代及び役職をお聞かせ下さい。

役 職	依頼 総数(人)	40代	50代	60代	70代	回収数	回収率
自治会長	202		5	103	41	149	74%
青少年育成 推進員	39	3	7	23	3	36	92%
主任 児童委員	20	7	10	2		19	95%
合 計	261	10	22	128	44	204	
比 率		5%	11%	63%	22%		



問1 現在、地域社会の連携が薄れてきているといわれますが、あなたはその理由にはどのような要因があると考えますか？

役職	①個人主義の進展	②核家族化の増加	③共働き世帯の増加	④単身世帯の増加	⑤高齢世帯の増加	⑥転勤や会社の仕事が忙しいため	⑦その他	回収数
自治会長	101	81	57	23	71	27	26	386
青少年育成推進員	21	15	18	2	15	6	9	86
主任児童委員	10	14	13	2	7	4	3	53
合計	132	110	88	27	93	37	38	525
比率	25%	21%	17%	5%	18%	7%	7%	



個人主義の進展・核家族化の増加・高齢化世帯の増加（64%）などが原因と考える傾向がある。一部に、核家族世帯の増加もその要因と捉える意見も見られる。意見の記述欄には：

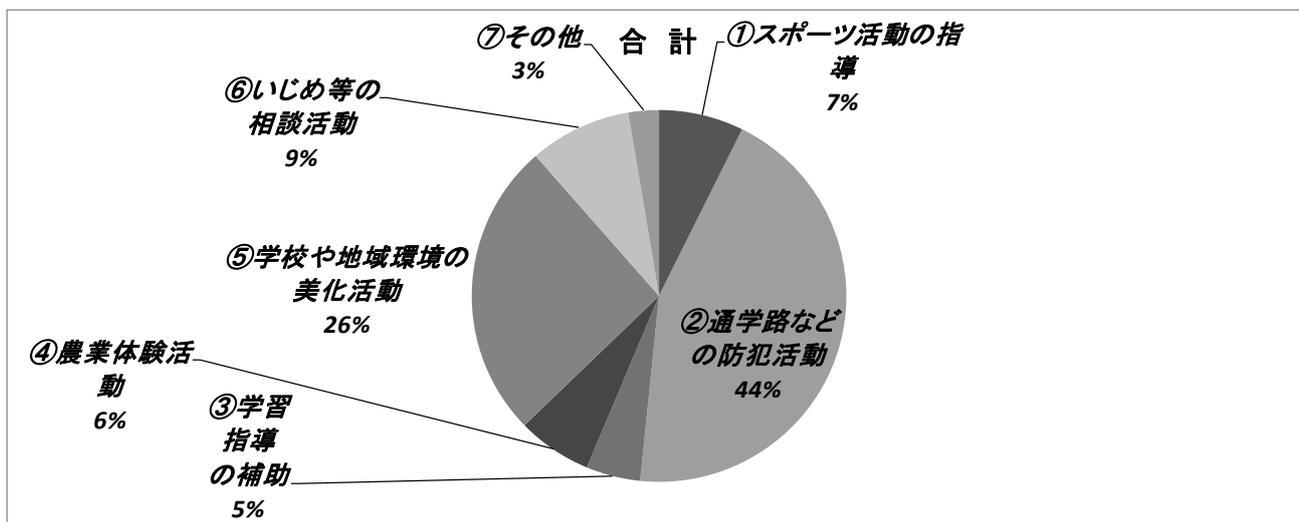
1. 家族優先の行動が多く見受けられる。
2. 収入減など、経済的な問題がある。
3. 日本人の価値観の変化（効率主義・拝金主義）
4. パソコン、携帯電話などネットの普及によるコミュニケーション手段の変化。
5. 家族、学校、地域における「教育の無気力化」

などが挙げられる。

中には「お金があれば、地域社会の連帯がなくとも生活ができる。」と言い切る意見もあるが、「向こう三軒両隣」と関わることが大切という意見もあった。

問2 あなたは地域の子どもの教育に対し、どんな協力ができますか？

役職	①スポーツ活動の指導	②通学路などの防犯活動	③学習指導の補助	④農業体験活動	⑤学校や地域環境の美化活動	⑥いじめ等の相談活動	⑦その他	回収数
自治会長	14	117	6	16	69	17	8	247
青少年育成推進員	5	27	4	4	17	10	1	68
主任児童委員	6	7	6	2	2	3	0	26
合計	25	151	16	22	88	30	9	341
比率	7%	44%	5%	6%	26%	9%	3%	



アンケート調査からは、通学路などの防犯活動や地域の防犯活動（73%）に協力ができるとの意向が示されている。全体的には防犯活動の必要性を強く感じている様子が見える。

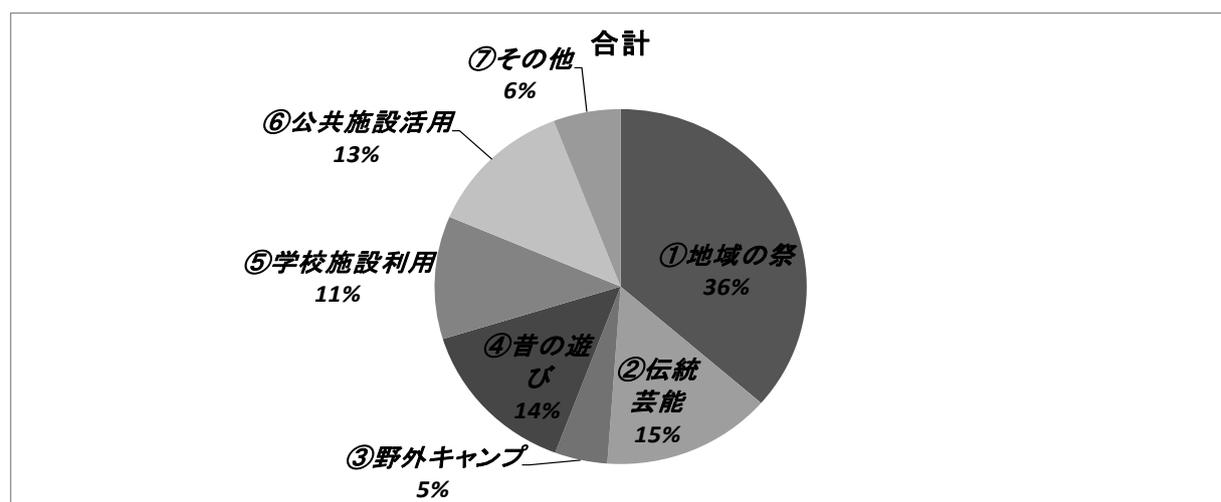
その他の意見では：

1. 挨拶や、声かけ、見守り等の活動
2. 自治会行事やスポーツ大会等への参加を促す
3. 水鉄砲や竹とんぼ作りなどの指導

等の意見があった。

問3 あなたは地域の世代間交流活動に、どんな行事が必要と思いますか？

役職	①地域の お祭り	②郷土伝 統芸能 の伝承	③野外 キャンプ活 動や クリスマス 会	④昔の 遊び (竹馬・ 竹とんぼ ・駒回し ・凧作り ・あやとり 等)	⑤学校 施設を 利用 した活動 (書道・ スポーツ ・郷土の 歴史等)	⑥公共施 設を活用 した活動(図 書館・天体 観測・バ レーポー ル等)	⑦その他	回収数
自治会長	105	32	16	39	28	32	20	272
青少年育成 推進員	26	15	1	10	13	11	3	79
主任児童委員	14	11	1	9	4	8	0	47
合計	145	58	18	58	45	51	23	398
比率	36%	15%	5%	15%	11%	13%	6%	



地域のお祭りをあげる者（36%）が大多数である。郷土伝統芸能の伝承や昔の遊びを世代間交流活動に取り入れたいとの意向が示されている。また、団塊の世代である熟年層は、相対的な意見として出来る協力に対しては惜しみない協力を示す者が多く見られた。

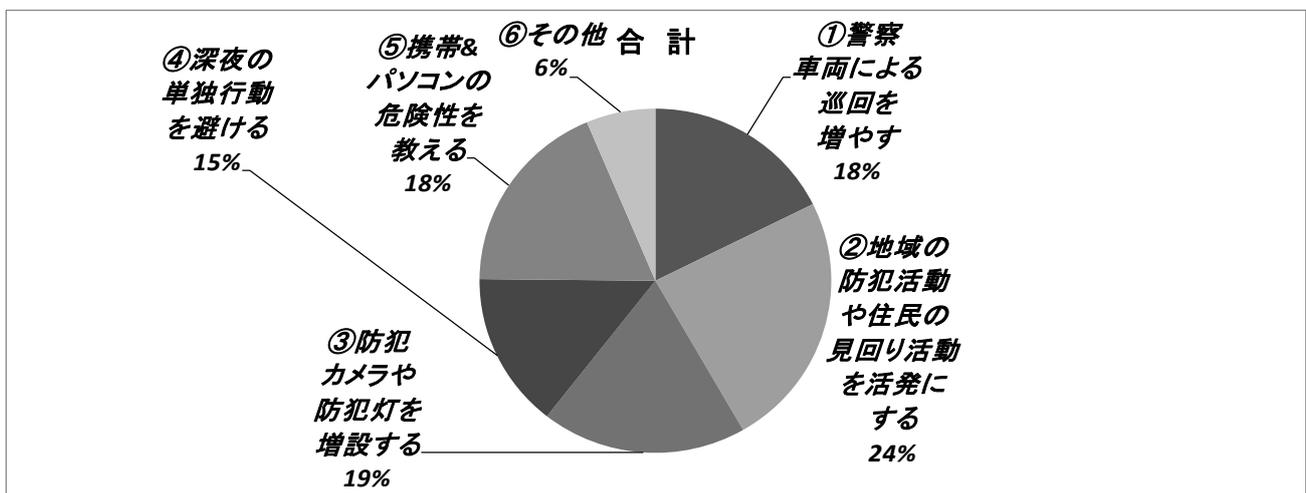
その他の意見では：

1. 市民農園で行う野菜作りや「いきいきサロン」の集会に子ども達を招待する。
2. 家族での参加型の餅つき大会やハイキング、旅行、運動会などの活動。
3. 昔話等を地域のお年寄りで情操教育が出来る方を公募し、活動の場を提供、地域の活性化を図る。

等の意見があった。

問4 現在、青少年が凶悪事件や事故に巻き込まれる事案が多発していますが、あなたはその被害を防止するにはどうしたら良いと考えますか？

役 職	①警察 車両による 巡回を増やす	②地域の 防犯活動 や住民の 見回り活動 を活発に する	③防犯 カメラや 防犯灯を 増設する	④深夜の 単独行動 を避ける	⑤携帯& パソコンの 危険性を 教える	⑥その他	回収数
自治会長	63	82	67	49	52	20	333
青少年育成 推進員	13	23	17	12	27	7	99
主任児童委員	10	12	8	10	11	4	55
合 計	86	117	92	71	90	31	487
比 率	18%	24%	19%	15%	18%	6%	



地域の防犯活動や住民による見回り活動を活発にするとの意見が最も多く（24%）次いで、携帯電話やパソコンのネット情報などの危険性を重視する様々な意見が寄せられた。総体的には、全ての設問に賛同する傾向が強く見られるなど防犯活動が何より重要な課題であるとの回答が多数見られた。

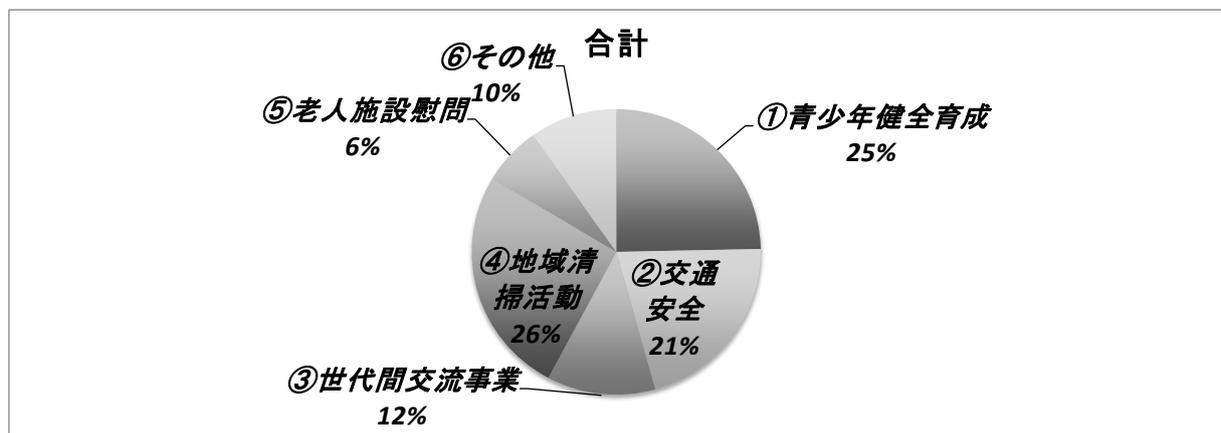
その他の意見としては：

1. 各家庭が居間で一緒に過ごす時間を増やす。
（親子の対話の機会を持ち宿題や勉強も居間で!）
2. 家庭教育が一番重要、親は子どもを教育しなければなりません。
3. 普段から地域の人達と挨拶を交わす習慣を身につける。

等の意見があった

問5 あなたは地域でどんな社会貢献活動をしていますか？

役職	①青少年健全育成のための活動	②交通安全等に関する活動	③世代間交流事業活動	④地域清掃活動	⑤老人施設などの慰問活動	⑥その他	回収数
自治会長	44	62	29	89	10	25	259
青少年育成推進員	34	13	12	7	10	9	85
主任児童委員	16	5	5	3	6	3	38
合計	94	80	46	99	26	37	382
比率	25%	21%	12%	26%	7%	10%	



青少年健全育成のための活動や地域清掃活動の両活動の協力が出来るとの意見が過半数を超えている。また、防犯活動を兼ねた交通安全に関する活動にも参画出来るとする意見も多数寄せられている。ある地区では、青色パトロール（防犯）活動を昼夜2時間程度行い、地域の安全確保に努めている自治会もあり、いろいろな社会貢献活動に積極的な取り組みが展開されている。

その他の意見で、

「児童の交通安全見守り隊で活動していますが、見守り隊員に交通指導員程度の安全教育を実施して欲しい。」との具体的な提案もあった。

学校グループにおけるアンケート結果

1. 調査期間 平成26年2月下旬～3月7日

2. 対象と規模

市内各小・中学校長 29人

市内各小・中学校PTA正・副会長 87人

3. 調査用紙配布数と回収数

	配布数	回収数	回収率
小・中学校長	29	29	100%
小・中PTA正・副会長	87	76	87%
計	116	105	91%

4. 調査用紙

32ページ

5. 調査結果

38ページ

学校グループ調査用紙

校種：小学校 中学校 （○で囲んでください。）

貴校では、次の各項目について、家庭に対し、どのようなねらいを設定し、具体的な取り組みをしていますか。

ご記入ください。（項目は、平成25年9月実施のPTA情報交換会の項目を参考に作成してあります。）

1 家庭学習について

ねらい	具体的な取組

2 学校行事等への参加について

ねらい	具体的な取組

3 基本的な生活習慣の習得について

ねらい	具体的な取組

4 子どもの安全対策について

ねらい	具体的な取組

5 食育について

ねらい	具体的な取組

6 いじめ、不登校について

ねらい	具体的な取組

<裏面もご協力ください。>

7 子どもの将来について

ねらい	具体的な取組

8 携帯電話等のインターネットの使い方について

ねらい	具体的な取組

9 家庭における親と子のコミュニケーションについて

ねらい	具体的な取組

10 望ましい部活動のあり方について(中学校)

ねらい	具体的な取組

11 防災対策について

ねらい	具体的な取組

12 その他

貴校が、今後、家庭教育支援への取組を進めるうえで、学校運営上、より必要とする事柄や困難と思われる事柄、さらに社会教育委員会議への要望、意見がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

校種：小学校 中学校 （○で囲んでください。）

あなたは、次の各項目に関し、ご家庭ではどのように取り組んでいますか。
ご記入ください。（項目は、平成25年9月実施のPTA情報交換会の項目を参考に作成してあります。）

1 家庭学習について

--

2 学校行事等への参加について

--

3 基本的な生活習慣の習得について

--

4 子どもの安全対策について

--

5 食育について

--

6 いじめ、不登校について

--

<裏面もご協力ください。>

7 子どもの将来について

8 携帯電話等のインターネットの使い方について

9 家庭における親と子のコミュニケーションについて

10 望ましい部活動のあり方について(中学校)

11 防災対策について

12 その他

あなたが家庭教育について、今後、さらに必要と思われる事柄、困っていること等があれば、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

学校グループ調査結果

- 回答総数は小学校19校，中学校10校。（ ）内の数字は記述数を示す。また、保護者からの回答数は、小学校53，中学校23である。
- 無回答の欄もあり、合計は必ずしも総数にならない。

調査項目1.家庭学習について

<ねらい>

小学校（19校）

- ・家庭において主体的に学ぶ態度を育む 5
- ・学習習慣を早期に確立し学力向上を図る 5
- ・基礎学力の定着 4
- ・自ら学ぶ力と習慣をつける 3

中学校（10校）

- ・学力向上 4
- ・習慣化、意識化を図る 4
- ・基礎学力の定着 2

<取り組み>

小学校

- ・「家庭学習のすすめ（手引き）」などの文書の配布、活用 12
- ・宿題を出す 6
- ・学習時間の目安を教える（学年×10分） 5
- ・自由学習
- ・家庭学習カード（音読カード）の活用
- ・No テレビデー、No ゲームデーの設定

中学校

- ・自主学習（1日1ページ） 6
- ・宿題を出す
- ・家庭学習の心得など配布
- ・保護者の集まる機会に説明

調査項目2.学校行事への参加

<ねらい>

小学校（19校）

- ・子供の成長を感じてもらう 4
- ・積極的な参加を呼びかける 4
- ・家庭教育力の向上 2
- ・地域ぐるみで子供を育てる
- ・開かれた学校づくりをする

中学校（10校）

- ・開かれた学校づくりをする 2
- ・子供たちの成長を感じてもらう 2

- ・望ましい人間関係づくり

<取り組み>

小学校

- ・行事ごとにお知らせを出す 7
- ・HP、学校便りなど 5
- ・行事に招待する 3
- ・学校応援団 2
- ・行事の手伝いをしていただく
- ・P、消防団（地域）と協力

中学校

- ・HP、学校便りなど 7
- ・行事に招待 2
- ・学校応援団、チームワークづくり

調査項目3.基本的生活習慣の習得

<ねらい>

小学校（19校）

- ・規則正しい生活リズムを身につける 7
- ・基準、基本を身につける 5
- ・家庭との連携（健やかに成長していくため） 2
- ・学校、家庭生活の充実
- ・当たり前のことが当たり前ができる

中学校（10校）

- ・家庭との連携 3
- ・規則正しい生活リズムを身につける 3
- ・学校、家庭生活の充実 2

<取り組み>

小学校（19校）

- ・学校便り、学年便りなどで周知する 7
- ・行事への参加呼びかけ 4
- ・小中一貫の指導要領 2
- ・あいさつ運動 2
- ・生活カード、アンケート 2
- ・早寝、早起き、朝ご飯の励行 2
- ・学級懇談会

中学校

- ・あいさつ運動 3
- ・学校便り、学年便りなどで周知する 3
- ・早寝、早起き、朝ご飯の励行 3
- ・躰を守る 2

調査項目 4.子供の安全対策

<ねらい>

小学校（19校）

- ・自分の身は自分で守る 7
- ・登下校の安全対策 9
- ・事故0を目指す

中学校（10校）

- ・登下校の安全対策 3
- ・健康で安全な生活 3
- ・事故0を目指す

<取り組み>

小学校

- ・連絡メール、緊急連絡サイトの活用 7
- ・保護者、ボランティアの登下校指導 8
- ・交通安全教室 3
- ・ヘルメットの着用 3
- ・下校予定表（時刻など）の配布
- ・避難訓練
- ・防犯ブザー

中学校

- ・登下校指導 3
- ・安全点検（自転車など）の実施 3
- ・防犯教室 2
- ・通学路点検
- ・連絡メール、緊急連絡サイトの活用

調査項目 5.食育について

<ねらい>

小学校（19校）

- ・健全な食生活をする 9
- ・早寝、早起き、朝ご飯 3
- ・食事のマナー 2
- ・生きる力

中学校（10校）

- ・健全な食生活をする 7
- ・感謝の心
- ・栄養指導

<取り組み>

小学校

- ・給食指導 5

- ・弁当の日、給食便り 各4
- ・HPの活用 2
- ・学校保健委員会のテーマ 2
- ・開食会、学校農園
- ・給食週間

中学校

- ・レシピの発行、試食会 各4
- ・朝食をとる 3
- ・保健便り、弁当の日
- ・給食週間、HPの活用

調査項目6.いじめ、不登校について

<ねらい>

小学校（19校）

- ・不登校0、いじめ0を目指す 7
- ・自分の大切さと他人の大切さを認める 2
- ・学校が大好き 2
- ・学校、地域、家庭の連携 2
- ・人間としてやってはいけないことを身につけさせる
- ・子供の変化に気づく
- ・親子の対話

中学校

- ・不登校0、いじめ0目指す 8
- ・生活習慣の
- ・学校、家庭、地域の連携

<取り組み>

小学校

- ・アンケートの実施 7
- ・教育相談 6
- ・人間週間、家庭との連携 各2
- ・外部講師、校長講和
- ・いじめ撲滅宣言
- ・進路教育
- ・家庭訪問

中学校

- ・家庭との連携 3
- ・アンケートの実施 3
- ・さわやか相談室 3
- ・三者面談、教育相談 各2
- ・教育相談所との連携
- ・命を大切にする教育

調査項目7.子供の将来について

<ねらい>

小学校（19校）

- 志を持つ 4
- 夢を持つ（2／1成人式） 9
- 渋沢栄一の生き方
- 人間性、社会性の育成
- 20年後の子どもの姿を
- キャリア教育
- 意欲の向上
- 働くことの大切さ

中学校（10校）

- キャリア教育 3
- 志を持つ 3
- 夢を持つ 3
- 社会貢献できる人材
- 自ら決定し努力できる子供の育成
- 進路指導
- 家庭での話し合い

<取り組み>

小学校

- 夢を育む教育活動 7
- 1／2成人式 4
- キャリア教育 3
- まごころ先生の道徳教育 3
- 志教育 2
- 教育相談
- 進学についての情報提供
- 「その道の達人」講演会
- 仕事の手伝い

中学校

- 社会体験チャレンジ 6
- 夢、志を持つ 4
- 上級学校訪問 4
- 三者面談 3
- 「ふれあい講演会」 2
- 進路説明会 2
- 立志式 2
- 自分史

調査項目8.携帯電話,インターネットの使い方

<ねらい>

小学校（19校）

- ・情報モラルを身につける 5
- ・ネットトラブルに巻き込まれない 5
- ・子供の命の安全 2
- ・知識
- ・フィルタリング
- ・使用時間
- ・有効活用
- ・必要でないものは持たせない

中学校（10校）

- ・トラブル防止 4
- ・情報教育 2
- ・生活習慣 2
- ・家庭ぐるみで取り組む 2
- ・マナー
- ・自分を守り、他者を尊重

<取り組み>

小学校

- ・講座の開催（県警、外部講師） 1 1
- ・懇談会などで周知（学校保健会） 2
- ・リーフレット配布 2
- ・道徳授業
- ・フィルタリング
- ・非行防止教室
- ・不必要なものは持たせない

中学校

- ・講座の開催 6
- ・リーフレット配布 2
- ・マナーやモラルについて学習
- ・非行防止教室
- ・学校便り

調査項目9.親と子のコミュニケーション

<ねらい>

小学校

- ・家庭生活の充実（親の気持ち） 5
- ・親子の関わり方（話題の提供） 3
- ・親子関係の向上 2
- ・家族の絆

- ・学校と家庭が一体
- ・あいさつ
- ・ありがとう
- ・信頼感
- ・愛着の形成
- ・家庭の目

中学校

- ・親と子の理解（会話） 4
- ・家族愛 2
- ・各種便りの配布
- ・夢と志
- ・子に向き合う

<取り組み>

小学校

- ・フリー参観（懇談会） 3
- ・親学 3
- ・意志の目 2
- ・家庭読書の日 2
- ・おやじの会
- ・ハートの目カード
- ・あいさつ運動
- ・「親からの手紙」「ありがとうの手紙」
- ・食事
- ・お手伝い、No ゲーム、あいさつ、読書

中学校

- ・配布物 5
- ・三者面談 2
- ・家庭訪問 2
- ・保護者会 2
- ・家庭教育学級
- ・PTA 活動へ教員の参加

調査項目 10.望ましい部活動のあり方

<ねらい>

小学校 記入なし

中学校

- ・体力向上 3
- ・部活動の周知（意義、目的） 3
- ・心身の育成 3
- ・人間関係の構築 2
- ・責任感

・協調性	
<取り組み>	
中学校	
・部活動懇談会	6
・努力、我慢、礼儀に接する機会	
・心の成長	
・新体カテスト	
・部長会	
・新一年生説明会の時、見学会への参加呼びかけ	
・全力投球	

調査項目 1 1.防災対策について

<ねらい>	
小学校（19校）	
・自分の命を守る	8
・的確な行動（対応）	3
・啓発活動	2
・安全な引き渡し（確認）	2
・竜巻、豪雨の安全確保	
・危険個所の確認	
・想定外という逃げ道を作らない	
・家庭との連携	
中学校（10校）	
・安心、安全な生活習慣	4
・保護者の引き渡し（連結の整備）	3
・行動力の育成	2
・自分の命を守る	
・家庭内での約束づくり	
・地域との連携	
<取り組み>	
小学校	
・避難訓練	7
・引き渡し訓練	6
・緊急メール	5
・通学路点検	3
・防災教室（危機管理）	2
・110番の家	
・避難場所の確認	
・共助の力の指導	
中学校	
・緊急メール	5

- 避難訓練
- 救助法の講習会
- 防災講演会
- 防災教室
- 避難先の確認
- 消防団との協力

調査項目 1 2.その他

<ねらい>

小学校（19校）

- PTA 新聞の学校便り化
- 家庭のしつけへの介入
- 就業前の保護者への子育て支援
- 家庭の経済力への支援
- 家庭教育アドバイザーとの協力
- PTA の各委員会に対して、活動の充実
- 親としての役目を
- 家庭への連絡（個人情報）

中学校（10校）

- 連絡が取りづらい家庭への支援
- 親の指導力の二極化→親の学習の強化
- 啓発活動をするときに肝心な家庭が出てこない→福祉との協力？
- 親の学習
- IT 関係の指導

PTA役員からの結果

調査項目1.家庭学習について

<小学校PTA>

- ① 高学年の子は自主性に任せ、低学年の子は、本人のやる気に合わせる。(17)
- ② 宿題や復習など、その日のうちに遊びの前に終わらせるという習慣を身に付けさせた。
また、時々ノートを見てあげる。(16)
- ③ 親が家庭教師の役をし、答えを導くように教える。(以下5)
 - ・基本は本人任せ、時に一緒に宿題をする。
 - ・短時間で集中できる環境作りを心がけている。
- ④ 主に宿題中心で行っている。自主学習を宿題に出す先生が増えてきた。(3)
 - ・決まった時間、場所で学習する。
- ⑤ 家庭が一番であることを知り、子どもたちを中心に学び喜びること。(2)
- ⑥ 子どもの興味のあることを尊重している。(以下1)
 - ・宿題は100%やらせ、自主学習も行わせ、本の多読を行わせている。
 - ・自分の力になることを実感するよう努める。
 - ・宿題をもう少し増やしてほしい。
 - ・声かけが必要である。

<中学校PTA>

- ① 声かけして、取り組ませる。(5)
- ② 塾に週2, 3回行かせ、予復習をする。(4)
- ③ 30分でも机に向かわせている。(2)
- ④ 定期テスト2週間前に塾に週3日行かせる。(以下1)
 - ・基本的には本人任せ。たまに声かけをする。
 - ・学習環境を整える。褒める、しかる。
 - ・宿題を先に終わらせる。
 - ・宿題を多く出す先生は、自然と学習習慣が身につく。

2 学校行事への参加について

<小学校PTA>

- ① 子どもの様子が見えるので、できる限り参加している。(31)
- ② 父母のどちらかが参加している。(3)
- ③ 仕事を持っているが、学校行事はすべて参加している。職場の理解を得ている。友人とのよい交流の場になっている。(以下1)
 - ・地域全体で参加し、盛り上げる。
 - ・あのときは楽しかった、と言えるように思っている。
 - ・子どもに対する先生の接し方も分かってよい。
 - ・PTA活動への参加者が少ない。あり方を研究する必要がある。
 - ・もう少し参加できる行事があってもよい。

<中学校PTA>

- ① 子どもは得意分野などがある行事では積極的に参加する。(10)
- ② カメラ、ビデオ等邪魔にならないように撮影している。(以下1)

- ・資源回収に助かる。
- ・可能な限り努力しようと思う。
- ・積極的に参加している。
- ・PTA 活動に携わることで行事には積極的に参加するようになった。
- ・可能な限り土曜日開催にして参加を呼びかけている。
- ・親子で参加するように心がけている。

3 基本的生活習慣について

<小学校 PTA>

- ① 早寝早起き。(24)
- ② 人間形成の全てである。毎日の生活の中での学び、躰である。(8)
- ③ 親が手本を示すと身に付くと思うので、気をつけている。(7)
- ④ 年齢相応に身に付けさせる。(以下3)
 - ・当たり前のことを当たり前のようにするのが親の責任。
- ⑤ TPO に応じて教えている。(2)
- ⑥ 学校からの連絡や評価がほしい。(以下1)
 - ・休日も規則正しい食事をするようにしている。
 - ・宿題や勉強はその日のうちに、遊びで出かけるとき、親に分かるようにさせている。
 - ・朝起きての洗顔が第一である。
 - ・手洗い、うがいは必ずさせている。
 - ・TV を 見る時間が長いような気がする。
 - ・両親で話し合い、ダメなことはダメと指導している。
 - ・人に感謝することの大切さを教えている。

<中学校 PTA>

- ① 家族、近所の人、顔見知りの人へのあいさつの励行。(7)
- ② 早寝早起き。(3)
- ③ 日常生活の中で気になることは注意している。(2)
- ④ 靴をそろえる、手伝いをする、等が習慣となるよう声かけをしている。

(以下1)

- ・風呂掃除、食器洗いをやってもらう。
- ・ほうれんそう、整理整頓、あいさつ。
- ・朝ごはんを食べて登校を心がけている。
- ・起床6時半、就寝9時の声かけをしている。

4 子どもの安全対策について

<小学校 PTA>

- ① 外出の時は、誰とどこにいて、いつ帰るかの約束を守らせる。(14)
- ② 危険があったらどうするか、会話の中で伝えている。(12)
- ③ 車、不審車について学校からのお便りなどに合わせて話をしている。(以下8)
 - ・スクールリーダーや地域(自治会)との連携が必要。
 - ・GPS 機能、防犯ブザー付きの携帯電話を持たせる。

- ④ 事例を示して危険回避を説明している。(4)
- ⑤ 知らない人に声をかけられたら、近くの家に逃げ込むように教えている。(以下2)
 - ・門限は午後5時、ヘルメット着用、送り迎えをしている。
- ⑥ ヘルメットの着用。(以下1)
 - ・飛び出ししないように声をかけている。
 - ・知らない人について行かない。
 - ・明るいうちに返る。
 - ・地元の行事に参加し、近所づきあいを大切にする。
 - ・地域全体で見守る。自分で自分を守ることの大切さを教える。
 - ・学校と連絡がとれる体制があるとよい。
 - ・友達同士の遠出は禁止している。
 - ・下校後の安全対策が必要だ。
 - ・学校は安全と考えている。
 - ・自分で自分を守れ、と教えている。

<中学校 PTA>

- ① 事件が起きた時は、いつ何が起きるか分からないので注意を喚起している。(5)
- ② 友達と出かける時は 帰宅時間、一緒に出かける友人の名前を聞いておく。(4)
- ③ 登下校のルールを確認している。(以下1)
 - ・自転車は、スピード、飛び出しなどに注意し、ルールを守る。
 - ・暗い時間帯には送り迎え。
 - ・行動を把握し、コミュニケーションを図る。
 - ・報告、連絡、相談を励行する。
 - ・遅くなる時は、車のたくさん通る、人通りの多いところを選んで帰らせる。
 - ・登下校のルートは確認している。

5 食育について

<小学校 PTA>

- ① 工夫して、野菜・魚をバランスよく料理している。味噌汁は、ほぼ毎朝。(16)
- ② 1日3食、規則正しく食べている。家族で楽しく。(以下9)
 - ・朝食は必ず、夕食は家族そろって食べることを心がけている。
- ③ 好きな物を食べさせているが、少しずつ苦手な物も食べさせるようにしている。(8)
- ④ おいしく食べ、作る人のありがたさを自覚させる。(4)
- ⑤ 夜の間食はさせないようにしている。(2)
- ⑥ 苦手な食べ物は量や調理法を工夫している。(以下1)
 - ・「〇〇話したり、野菜でつくったよ」と話したり、味について意見を聞く。
 - ・家庭科で習ったことを生かし、自分で作ってもらうこともある。
 - ・週に一度子どもに夕食を作らせる「お弁当の日」も設ける。
 - ・三度きちんと食事をとらせる。
 - ・残食など食べ物の大切さを厳しくしている。
 - ・食事の時に食材について話す。
 - ・お菓子をよく食べてしまう。不安だ。

- ・家庭の味が大切。ファーストフードは避ける。

<中学校 PTA>

- ① バランスのよい食事を食べさせる。朝食は必ず。(4)
- ② 1人で食べることがないようにしている。(3)
- ③ 3食しっかり手作りの物をとる。(2)
- ④ 家族みんなで食事をとる。(以下1)
 - ・野菜をたくさんとる。
 - ・家庭菜園の物をちる。時々子どもに味噌汁を作ってもらおう。
 - ・一日の出来事を話しながら食べるようにしている?」

6 いじめ、不登校について

<小学校 PTA>

- ① 他人の嫌がることは絶対にしてはいけないと話している。(以下11)
 - ・日頃から子どもの体調や言動などに注意している。
- ② いじめの話があったら学校にすぐ連絡したい。(9)
- ③ 子どもの話をまずは聞き、気になることは担任に話す。(7)
- ④ 学校、地域、PTAでの情報を蜜にして、起こる前に対応・改善している。(4)
- ⑤ 苦手な子も必ずいるけど必ずいいところがあることを教えたい。いじめの子は心が病気になるんだと伝えている。(3)
- ⑥ 傍観者にならない。
- ⑦ 本人の話を聞いてからアドバイスしたい。(以下1)
 - ・いじめは永久にあってはならないこと、とにかく迅速に対応して気づくことです。学校、地域、親みんなで考え、行動することだ。
 - ・仕事のことで子どもには分からないかなと思うことでも、話している。
 - ・ささいな言葉や行動からいじめは始まることを常に話している。
 - ・何がいけないか、加害者・被害者の心情を考えさせるようにしている。
 - ・時々、子どもから嫌なことはないか、友達に嫌なことをしていないか聞いている。
 - ・遊びでも暴力は振るわず、友達を守れるような子になるよう約束している。
 - ・自分を大切にできる人はひとも大切に思うことができると教えている。

<中学校 PTA>

- ① 学校での様子などを聞き、いじめなどがあるかどうか聞く。(5)
- ② 子どもの変化を見逃さないように会話をする。(2)
- ③ いじめのない環境を望む。(以下1)
 - ・「ただいま」の声の調子に気をつけている。
 - ・相手の気持ちを考えるよう言い聞かせている・
 - ・日々コミュニケーションをとっている。
 - ・じぶんがされたらと考えて行動するよう注意している。
 - ・自殺のニュースがあれば、話し合いをさせている。

7 子どもの将来について

<小学校 PTA>

- ① 子どものやりたいことを尊重している。(16)
- ② 道を間違えないように見守ってほしい。(10)
- ③ たくさんの選択肢が得られるよう学力を身に付けてほしい。(4)
- ④ 何でも興味をもつこと、体験してみることの大切さについて話し合っている。(3)
- ⑤ 子どもは宝、小さい夢から将来を見つけてあげたい。(以下2)
 - ・勉強することの大切さを伝えている。
 - ・親として協力できることはする。
 - ・夕食時などに話題にしている。
 - ・今がんばることが将来やりたいことができるために必要と話している。
 - ・何になりたいか確認している。
 - ・すぐにやめたり、投げ出したりしない精神力をつけるようにしたい。
 - ・「生きる力」の学習が大切だ。
 - ・目標を持って前進してほしい。
 - ・本を読むこと、体を動かすこと、人との交流に期待している。

<中学校 PTA>

- ① 子どもの将来は親が決めることではない。(5)
- ② 進路は自分で見つけ、親は手助けする。(2)
- ③ 親子でよく話し合っている。(以下1)
 - ・子どもの意思を尊重している。
 - ・自立できるようアドバイスしている。
 - ・チャレンジしてほしい。

8 携帯電話等のインターネットの使い方について

<小学校 PTA>

- ① 持たせない。(12)
- ② ルールを決める。家庭で話し合う。(11)
- ③ 使うときは親と一緒に。(8)
- ④ 目の届く範囲内で使用させている。(以下7)
 - ・必要以外使わせない。
- ⑤ インターネットは子どもの頃から学んだ方がよい。(以下2)
 - ・セキュリティを利用している。
- ⑥ アクセス制限をきちんとする。(以下1)
 - ・年齢に応じた範囲内で使用させている。
 - ・必要最小限と考えている。犯罪に巻き込まれない対応を考えるのが親の役目と考えている。
 - ・社会の変化に対応する使い方を積極的に教えることが重要。

<中学校 PTA>

- ① 携帯電話、インターネットの使い方、料金等をきちんと伝える。(7)
- ② 携帯電話は持たせない。(5)
- ③ 自分の部屋に持ち込ませない。(以下1)

- ・フィルタリングで制限している。
- ・節度をもって使ってほしい。
- ・長時間の使用は注意。

9 家庭における親と子のコミュニケーションについて

<小学校 PTA>

- ① キャッチボール、バドミントンなど一緒に時間を作る。(17)
- ② 一日あったことをその日のうちに聞いている。(13)
- ③ よく話をする。安心を与えるようにする。(7)
- ④ 食事をしながら子どもと接している。(4)
- ⑤ リビングで過ごすようにしてる。(3)
- ⑥ 一日一回親子で話をする場を作る。(以下1)
 - ・夕食の時や風呂に入りながら。
 - ・夫婦で役割分担を決めて意思を伝えている。
 - ・朝食は TV を消して会話をしながら必ず一緒にとる。
 - ・一緒に過ごせる時間を大切にする。学校での出来事や友人との遊びなどを聞く。
 - ・風呂の中、車の中、寝る前の時間等に話を聞く。
 - ・食事を一緒にする。
 - ・話をしたり、ゲームをしたり、スキンシップをとっている。
 - ・話を聞いてあげる。
 - ・土日はできるだけ話し合う。

<中学校 PTA>

- ① 家庭で同じ部屋で食事をしテレビを見ながら会話をしている。(10)
- ② ご飯を一緒に食べる。(3)
- ③ おはよう、おかえりなどの挨拶をさせている。(以下1)
 - ・自分で感じたこと、思っていることは声に出して伝えている。
 - ・一緒に出かける。
 - ・先生からいただく学級通信をもとに会話する。

10 望ましい部活動のあり方について

<小学校 PTA> ※ 小学校では部活動の指導はしていない。回答は少なかった。

- ① スポーツを通して、礼儀や先輩・後輩の関係など授業とは違った場になる。
- ② 指導と体罰を間違えないようにしてほしい。
- ③ 公立中学校の部活動の役割を再考する時期である。
- ④ 新しいことにチャレンジする場であってほしい。
- ⑤ 厳し過ぎはよくない。

<中学校 PTA>

- ① 学業優先、あまり勝敗にこだわらず、楽しく部活動に参加できるようになればいいと思う。
(5)
- ② 3年間部活動をとおして切磋琢磨しながら友達との関係が深まる。(3)
- ③ 顧問と家庭の信頼関係が大切。(2)

- ④ 礼節と努力を身に付けられるとよい。つらくてもがんばろうと思う指導者に巡り会えるとよい。(以下1)
- ・土・日・祝日がびっしり部活だと子どもたちも大変。遠征も遠いと負担も大きい。
 - ・礼儀を一番に教え、楽しく厳しく。
 - ・地域との協力、公民館などの社会教育施設やスポーツクラブなどとの連携により運営上の工夫をするとよい。
 - ・やり過ぎはどうか。練習試合は公共の乗り物で。

1.1 防災教育について

<小学校 PTA>

- ① もしもの時の家族の集合場所を決めている。(以下7)
- ・何もしていない。
- ② 学校・家庭・地域との連携(以下5)
- ・安全をみんなで確認し、安心して行動する。
- ③ 逃げる場所なども確認している。(4)
- ④ 避難訓練等は先生方が多いときにやることが多く、実際に少ない時にどう効率よくできるかが不安である。
- ・雪対策も考えたい。
 - ・食料品は備えてある。
 - ・いざというときの備えは？
 - ・報道を聞き、何をすべきか、何ができるか、を学んでいる。
 - ・学校では年には年を入れてお願いしたい。
 - ・地震が起きたときは、壁や塀の近くは通らないように教えているが、できるかどうか。
 - ・転倒防止なども教えておきたい。
 - ・有事の際は自己判断が大事。促している。
 - ・祖父母・親戚・近所の友人に有事の際はよろしくと願っている。
 - ・他の家族の子どもが分かるように努めている。

<中学校 PTA>

- ① 災害があった時にどうするか具体的に話し合う。(5)
- ② 自治会やPTAの見回りなど協力して見守っていただいている。(2)
- ③ 公民館との連携を考えたい。(以下1)
- ・子どもの火遊び、たばこのポイ捨て、考えさせる。
 - ・住宅用火災報知器を付けている。
 - ・集合場所を決めている。
 - ・防災リュック(グッズ)を用意している。
 - ・連絡手段の確認、高い木の伐採。
 - ・何かが起こったら、小学校に集合と決めている。
 - ・ニュースを見て、これが今ここで起こったらどうする、と子どもに聞く。危険を感じる日頃からの意識が大切。

12 その他（無回答が多かった。）

<小学校 PTA>

- 防災バッグを用意している。
- 不審者や事件が置く、親は子どもの何でも知りたいと思うあまり、子ども自立を妨げているか。親の子離れのための教育が必要だ。
- いじめ対策を強化してほしい。
- 親と子どもの絆。
- 人を傷つけることはしない。勉強は楽しいと思えるように学んでほしい。
- 素直に育ててほしい。
- PTA 活動への理解、参加を積極的にしてもらうにはどうしたらよいか。他校の例を勉強したい。
- 性教育。家庭でもその必要性を感じている。（1 家庭）
- 熱中症対策。
- インターネットを与えてしまう前に親への教育が必要。
- 命の尊厳、大切さについてきちんと考えることが今、大事と思う。
- 子どものベッドのそばに家具を置かないようにしている。
- 親を育てるセミナーもあればいいと思う。

<中学校 PTA>

- 衣食住について自ら考え、生きていける力を身に付けさせたい。
- 顔を見て話し合うこと。
- 家事の手伝いが大事。終わったときに「ありがとう」というといい笑顔が見られる。家の中での自分の役割が責任感に変わり、それが続くことで家族の絆も深まっていくのでは。
- 保健室の使い方が自分たちの時と違ってきているので戸惑っている。
- 困ると人に相談せずに、インターネット等で調べて納得しようとする人間が増えている。

深谷市社会教育委員会議 活動記録

日付	場所	内容
平成24年 7月11日	教育庁舎 大会議室	第1回深谷市社会教育委員会議・委嘱式
8月22日	明戸公民館 大会議室	第2回深谷市社会教育委員会議
8月30日	深谷公民館 中会議室	小川町社会教育委員視察研修 ・深谷市における社会教育委員会議の活動について説明
9月26日	南公民館 大会議室 A	第3回深谷市社会教育委員会議
10月25日 ～26日		第43回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会
11月22日	深谷公民館 大会議室	第4回深谷市社会教育委員会議
11月30日	藤沢公民館 大会議室	平成24年度第26回大里地区公民館連合会研究集会 平成24年度大里地区社会教育委員連絡協議会第2回理事会 講師：深谷市文化財保護審議会会長 新井 慎一 氏 演題：「渋沢栄一、事上練磨の人生に学ぶ」
12月18日	深谷公民館 中会議室	美里町社会教育委員視察研修 ・深谷市における社会教育委員会議の活動について説明
平成25年 1月30日	古河歴史博物館	平成24年度大里地区社会教育委員連絡協議会視察研修
2月8日	大寄公民館 大会議室	第5回深谷市社会教育委員会議 講師：久木 委員 演題：「子どもたちの現状とこれからの学校教育」 講師：宮澤 委員 演題：「幼稚園教育とスポーツ少年団活動について～ 地域と共に様々な体験を通して子どもを育てる～」
2月14日	寄居町中央公民館	平成24年度北部地区市町社会教育関係委員・職員基礎研修会 講師：聖学院大学人間福祉学部児童学科准教授 小池 茂子 氏 演題：「高齢社会と社会教育委員の役割」
2月28日	前橋プラザ元気21 前橋市美術館 前橋市中央公民館	深谷市社会教育委員会議視察研修

4月24日	深谷公民館 中会議室	第6回深谷市社会教育委員会議 講師：林 委員 演題：「本県の障害児教育の現状と我が国の障害者施策の現状」 講師：國吉 委員 演題：「青少年健全育成運動に携わってきて」
4月26日	深谷公民館 中会議室	平成25年度第1回大里地区社会教育委員連絡協議会理事会
5月17日	妻沼中央公民館	平成25年度大里地区社会教育委員連絡協議会定期総会及び記念講演 講師：聖学院大学人間福祉学部こども心理学科 渡辺 正人 氏 演題：「形あるものが消えたとき—東日本大震災を機会に見直される「地域」と「文化」—
5月31日	国立女性教育会館	平成25年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 講師：NPO 法人教育支援協会代表理事 吉田 博彦 氏 演題：「ふくしまキッズに学ぶ社会教育」
6月25日	明戸公民館 大会議室	第7回深谷市社会教育委員会議・委嘱式
7月25日	藤沢公民館 大会議室	第8回深谷市社会教育委員会議
8月26日	深谷公民館 中会議室	第9回深谷市社会教育委員会議
9月24日	深谷公民館 中会議室	第10回深谷市社会教育委員会議
10月22日	藤沢公民館 大会議室	第11回深谷市社会教育委員会議
11月14日 ～15日		第44回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会
12月12日	花園生涯学習センター・花園公民館	平成25年度第27回大里地区公民館連合会研究集会 平成25年度大里地区社会教育委員連絡協議会第2回理事会 講師：立正大学社会福祉学部教授 堺 正一 氏 演題：「塙保己一の生涯を振り返る ～生涯学習の視点から～」
12月17日	深谷公民館 大会議室	第12回深谷市社会教育委員会議
12月27日	上柴西小学校	学校グループ協議

平成 26 年 1 月 24 日	南公民館 会議室 B	第 1 3 回深谷市社会教育委員会議
1 月 31 日	サト卫記念 2 1 世 紀美術館 久喜市立青毛小学 校	平成 2 5 年度大里地区社会教育委員連絡協議会視察研修
2 月 13 日	長瀬町中央公民館	平成 2 5 年度大里地区社会教育委員連絡協議会視察研修 講師：埼玉県家庭教育振興協議会会長 青山 孝行 氏 演題：「家庭の教育力の向上と社会教育委員の役割」
2 月 25 日	深谷公民館 中会議室	第 1 4 回深谷市社会教育委員会議
3 月 14 日	深谷公民館	学校グループ協議
3 月 18 日	深谷公民館	家庭グループ協議 地域グループ協議
3 月 24 日	深谷公民館	家庭グループ協議
3 月 26 日	熊谷文化創造館 (さくらめいと) 会議室 2	平成 2 5 年度大里地区社会教育委員連絡協議会第 3 回理事会
3 月 27 日	深谷公民館	地域グループ協議 学校グループ協議
4 月 4 日	江南公民館 会議室 B	平成 2 6 年度大里地区社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会
4 月 7 日	深谷公民館	地域グループ協議
4 月 11 日	深谷公民館	家庭グループ協議
4 月 18 日	藤沢公民館 大会議室	第 1 5 回深谷市社会教育委員会議
4 月 30 日	深谷公民館	学校グループ協議
5 月 7 日	深谷公民館	家庭グループ協議 地域グループ協議
5 月 22 日	深谷公民館	平成 2 6 年度大里地区社会教育委員連絡協議会定期総会及び記念 講演会 講師：聖徳大学生涯教育文化学科教授 西村 美東士 氏 演題：「まちづくりの拠点としての公民館」一住民の 個人化状況と「社会開放型の生き方」一
5 月 27 日	深谷公民館 中会議室	第 1 6 回深谷市社会教育委員会議

5月29日	国立女性教育会館	平成26年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 講師：東洋大学理工学部生体医工学科准教授・東洋大 学グローバルキャリア教育センター副センター長 小島 貴子 氏 演題：「社会教育以前～現代若者就職事情～」
6月25日	教育庁舎 3階 大会議室	第17回深谷市社会教育委員会議

深谷市社会教育委員

任期 平成24年7月1日～平成26年6月30日

	氏名	選出団体・機関	備考
1	倉上 武雄	明戸公民館	議長
2	柏村 行男	南公民館	副議長
3	手計 茂 荒木 宏治	小学校校長代表(岡部小学校) 小学校校長代表(上柴西小学校)	～平成25年5月13日
4	久木 健志 馬場 和久 清水 勉	中学校校長代表(深谷中学校) 中学校校長代表(幡羅中学校) 中学校校長代表(花園中学校)	～平成25年5月13日 ～平成26年5月12日
5	石森 信一 為谷 剛	PTA連合会代表(榛沢小学校) PTA連合会代表(上柴中学校)	～平成25年6月10日
6	後藤 高明	子どもサポート市民会議代表	
7	國吉 眞弘 吉澤 正則	人権教育推進協議会代表 人権教育推進協議会代表	～平成25年5月13日 地域グループリーダー
8	清水 國男	生涯学習課	
9	高田 清美	生涯学習課	
10	根岸 雅子	深谷公民館	
11	近藤 英治	藤沢公民館	
12	林 功	幡羅公民館	
13	宮澤 達三	大寄公民館	
14	新井 祐二	八基公民館	
15	八巻 紀男	豊里公民館	
16	谷内 隆彦	上柴公民館	家庭グループリーダー
17	村木 則子	岡部公民館	
18	大澤 晋	川本公民館	
19	河田 耕一	花園公民館	学校グループリーダー